様式第３

会　　議　　録

会　議　名	令和８年度第１回野田市保健医療問題審議会
議題及び議題公開又は非公開の別	「野田市健康づくり計画」の進捗状況について
日　　時	令和８年９月29日（火） 午後１時30分から午後２時20分まで
場　　所	保健センター　３階　大会議室
出席委員氏　名	門倉　正樹、岡田　吉郎、谷口　勲、種村　伴子、島田　恭光 石塚　勝巳、茂木　　泉、鏡　浩美、間中　恵美、渡辺　優子 間中　由男、山崎　信子
欠席委員氏　名	廣野　喜之、守田　優子、新　玲子、張替　洋子
事務局等	内田　一也（健康子ども部長）、廣瀬　康之（健康子ども部次長（兼）子ども保育課長）、秋鹿　弥由紀（保健センター長）、山形　好人（保健センター長補佐）、初見　亜希子（保健センター長補佐（兼）子どもの発達相談室長）、山浦　千幸（保健センター健康増進係長）、須田　美由希（保健センター母子保健係長）、木村　文子（保健センター健康増進係主査）、間宮　千香子（保健センター母子保健係主査）、矢野　美由紀（保健センター母子保健係主査）、水川　知心（保健センター健康増進係主任技師）、菅澤　真理（保健センター健康増進係主任技師）、加賀　昌美（保健センター健康増進係主任主事）、佐藤　亮（保健センター健康増進係主任主事）、杉下　正美（農政課長）、廣居　信和（学校教育課長）、間々田　英示（指導課長）
傍　聴　者	０名
議　　事	会議結果（概要）は、次のとおりである。

司　　会	令和８年９月29日午後１時30分、令和８年度第１回野田市保健医療問題審議会の開催を宣言した。 定足数充足による会議成立について報告した。 会議録作成のため、録音することに了承を得た。会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明し、会議の途中に傍聴の申し込みがあった場合、入室を認めることに了承を得た。 会議資料について説明した。
健康子ども部長	＜健康子ども部長挨拶＞
司　　会	今年度から新しく委員に委嘱された２名に自己紹介をお願いしたい。
各 委 員	＜各委員自己紹介＞
司　　会	以降の議事進行を、保健医療問題審議会条例第６条第１項の規定により、本審議会の会長である門倉会長にお願いする。
会　　長	本日の議題、「野田市健康づくり計画」の進捗状況について事務局に説明を求める。
事 務 局	＜事務局説明＞
会　　長	説明のあった内容について、委員に質疑及び意見を求める。
島田委員	悪化した項目に関して、なぜ悪化したか、と言ったアンケート調査等はされているのか。
初見保健センター長補佐	アンケート等を取った訳ではないが、妊婦の喫煙が増加している点で申し上げると、母子手帳交付の面接の際の聞き取りから、家族が喫煙している影響が大きいと感じている。妊娠期だけでなく、家族含めてということになると、今後の取組みで挙げている、小・中学校と連携を図り、児童、生徒、保護者に対して喫煙および受動喫煙に関する情報提供を行い、若い世代から正しい知識の普及啓発が必要と考える。
秋鹿保健センター長	全体的なところで言うと、分野ごとに内容が異なっており、すぐに原因の特定というのは難しい。しかし、内容をまとめていく中で、なぜ、この結果になっているのかと考える点もあった。この結果を踏ま

	えた上で今後、進めていきたい。
会　　長	他に質疑・意見があるか委員に伺う。
石塚委員	行動変容というのは、難しい問題と捉えている。従来どおりに情報を流すだけでは受け身となってしまい結果が伴わない。 その中で、私が注目しているのが、のだ健康・スポーツアプリである。私も参加しているが、自分自身に直接的に関わってくると関心を持つようになる。そのため、のだ健康・スポーツアプリを突破口にして、アプリをもっと普及させ、健康に関心を持つ人を増やすという点を重点的に行ってもいいと考える。
秋鹿保健センター長	今後の参考とさせていただく。
茂木委員	栄養・食生活の項目の中で、児童・生徒の肥満傾向児について令和５年から７年までの実績が記載してあるが、長期的な実績はあるか。この期間での評価となると短期的すぎるため、もっと長期的に傾向を評価した方がよいと考える。
秋鹿保健センター長	長期的な実績については、配布している冊子版 健康づくり計画の第３章11ページに平成26年からの実績を掲載している。平成26年は3.1%、前回策定時の平成30年が3.3%、令和３年が5.5%、現計画策定時の令和５年実績が3.8%、令和７年実績が3.9%となっていることから、コロナ禍の時に肥満児の割合が増加したと分析しているが、委員の言うとおり、長期的に傾向を評価していく必要があると考えている。
間中委員	提案になるが、中間評価目標値に対する達成状況について悪化となっているものが多数ある中で、今後の取組みとして、SNS等を通じて啓発を行い、改善に取り組むとあるが、啓発資料を読んだ・見たというだけで、そのままになってしまうことも多いのではないか。 この時期だと地区の運動会シーズンということで、各地区で開催されている。健康等に関心のある方たちは、そういった活動に子ども等も含めて参加するのではないか。そういった場所で、専門の職員が啓発等を行う方法も一つではないか。

秋鹿保健センター長	今後の参考とさせていただく。
会　　長	他に質疑・意見があるか伺う。
	＜質疑・意見なし＞
	ほかに質疑・意見がないため、議題については事務局案のとおり承認とする。
	連絡事項について事務局に説明を求める。
事　務　局	＜事務局説明＞
会　　長	事務局からの説明について了承を求める。
	以上をもって、本日の議題が全て終了した。
	午後２時20分、閉会を宣言した。